



JUNBA 理事会(第 187 回) 議事要旨

日時: 令和 6 年 7 月 25 日(木) 15:00~

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 15名

【理事】丸山会長(桜美林大学)、North 副会長(大阪大学)、神山理事(名古屋大学)

【事務局】(中別府事務局長・兼常務理事) 池田副センター長、熊野国際協力員、Hughes (JSPS サンフランシスコ研究連絡センター)

【会員/オブザーバー】ダニエル・リード、吉田(京都大学)、東澤(大阪大学)、青木(東京大学)、岡田(名古屋大学)、三宅(立命館大学)、熊谷(California Department of Public Health)、千田(Institute of Quantum BioFrontiers)

1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

2. 理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

(1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことについて説明があり、原案どおり承認された。

(2) 各拠点の令和 6 年度の活動計画について

各拠点に記載いただいた予定について事務局から説明があり、活動計画について確認を行った。

3. 活動報告

学校法人立命館 総合企画室 副室長 三宅雅人 氏

立命館大学はサンフランシスコ事務所を 2024 年 3 月にオープンし、三宅氏が所長となっている(オフィスは JSPS サンフランシスコ研究連絡センター内)。立命館大学として JUNBA に加盟することは内部の常任理事会で承認済み。組織としては、学校法人立命館が小学校から大学までの組織を統括している。立命館大学はサンフランシスコ事務所を含め、7つの海外拠点がある。立命館大学はジョイント・ディグリー・プログラム(連携する大学間で開設された単一のプログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの)とデュアル・ディグリー・プログラム(複数の連携する大学間において、各大学が開設した同じ学位レベルの教育プログラムを、学生が修了し、各大学の卒業要件を満たした際に、各大学がそれぞれ当該学生に対し、学位を授与するもの)の両方の制度を持っている。ジョイント・ディグリー・プログラムはアメリカン大学と連携しており、デュ



アル・ディグリー・プログラムはオーストラリア国立大学と連携している。その他に、日本にいながら英語だけで学位を取ることができる学部も存在している。

京都大学 京都大学北米センター コーディネーター ダニエル・リード 氏
キングフィッシャープログラムは毎年 10 名の京都大学在学学生に 2 週間の米国訪問の機会を提供し、国際的なキャリアの機会について直接学び、NASA、NIH、米国国務省などのオフィスを訪問する機会を提供している。プログラムを作った目的は、次世代を担う京都大学生に対して、グローバル化が進む社会で活躍するために必要なスキルとネットワークを提供することである。当該プログラムの目標は、参加者が、将来のキャリアについて、個人的な使命やヴィジョンを持つことを支援すること、国際的なネットワークの構築、リーダーシップについての能力を引き出すこと等である。プログラムを通じて、参加した学生は各分野の著名な指導者達との対談の機会を得て、指導者達の各々のキャリアパスとリーダーシップ・スタイルについて学ぶことができる。

2024 年 8 月は JUNBA 理事会を開催はしない。

次回理事会の日程は以下のとおり、

- ・2024 年 9 月 26 日(木) 15 時 00 分～(PDT)
- 9 月 26 日(木) 18 時 00 分～(EST)
- 9 月 27 日(金) 7 時 00 分～(JST)